

兵庫県における地域リハビリテーション支援体制推進事業について

1 本事業の目指すところ

兵庫県では、県内のどの地域においても、地域リハビリテーションの理念を持った専門職が地域の実情に応じてリハビリテーションの専門性を発揮して多職種で連携して地域づくりの場で活躍することを目的とする。

2 これまでの取り組み

(1) 兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会との連携による人材育成

H27 年度～ 年間合計 5 回実施 (STEP I～III) 延べ 3,500 人受講

(2) 各市町における地域リハビリテーション活動支援事業等への協力可能なりハ専門職の見える化

派遣協力可能者名簿 登録者：580 名 登録施設：240 施設 県担当課より全市町担当者へ配布

(3) 各市町でのリハビリテーション専門職のネットワーク化の推進

令和 6 年 9 月時点、26/41 市町で市町単位の POS 連絡会を設立 その他の 15 市町でも行政、圏域地域リハ支援センターが事業に関する調整を行い、41 全市町で地域支援事業へ専門職が参画

3 令和 6 年度の取り組み

地域の専門職ネットワークのエンパワーメント（充実、強化、つながりの展開）、エンカレッジメント（励まし、動機づけ）、エンゲージメント（貢献感、仲間意識）を高める働きかけを行い、地域毎の醸成を図る。

(1) 地域リハビリテーション活動支援事業の展開

① 行政との定期的な協議の場・事業の振り返りの場を推進

5 月 兵庫県との事業計画の協議

6～7 月 圏域訪問（県、全県地域リハ支援センター、圏域地域リハ支援センター、健康福祉事務所（保健所）との情報共有および戦略の協議）

7～9 月 県伴走支援対象市町の事業視察

9 月 健康福祉事務所（保健所）・圏域地域リハ支援センター担当者連絡調整会議の開催

11 月 県担当課主催の介護予防・生活支援推進会議に出席

3 月 兵庫県地域リハビリテーション推進会議

随時 圏域主催のネットワーク会議への参加

② 顔の見える関係づくりの広がりをサポート 専門職の合同研修、意見交換の場

8 月 地域リハ活動支援事業派遣協力可能者対象の活動実態に関するアンケート調査実施

10 月 地域リハビリテーション活動実践者対象研修（東部地域）の開催

1 月 地域リハビリテーション活動実践者対象研修（西部地域）の開催

随時 圏域地域リハ支援センター、市町リハ専門職連絡会等への個別サポート

③ 事業参画の実情とリハ資源の有効活用（派遣協力名簿と実働者の現状把握）

4～6 月 地域リハ活動支援事業派遣協力可能者名簿の更新、配布

2月 市町担当者対象の事業参画実態アンケート調査（兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会との協働）の実施

④ 総合事業の効果検証に向けた取り組み

9月 介護予防活動普及展開事業へ県関係機関として参加（1回目）

12月 介護予防活動普及展開事業へ県関係機関として参加（2回目）

2月 介護予防活動普及展開事業へ県関係機関として参加（3回目）

（2）疾病予防、重度化予防に向けた取り組み

① 心臓リハ分野の地域リハとの融合、人材育成の推進

中播磨圏域、西播磨圏域でのモデル事業の検討 心臓リハ指導士の地域活用

（3）災害リハビリテーションの地域展開

① 兵庫 JRAT、JMAT 兵庫と連携して、多職種での災害リハ実践者の養成

6月 JMAT 兵庫研修への動員

② 圏域リハ支援センター、兵庫 JRAT の連携による、圏域単位での災害リハ実践者の養成

7月 但馬圏域リハ・兵庫 JRAT 共催研修の開催（22名参加）

③ 兵庫県合同防災訓練への参加

9月 兵庫県・但馬地域合同防災訓練に参加（3チーム20名参加）

（4）障害福祉分野における地域別の課題抽出

① 圏域毎での障害福祉分野での現状把握、課題抽出

・自立支援協議会への参加（西播磨圏域）

・圏域単位の障害児者ネットワークづくり（北播磨圏域）

（5）地域リハビリテーションの啓発

① 兵庫県総合リハビリテーション・ケア研究大会の開催（令和6年9月29日）

テーマ「活動と参加 ～スポーツ・移動・就労支援～」

兵庫県における地域リハビリテーション支援体制及び関係機関との協働

